

平成25年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」外部評価委員会評価結果

達成目標に対する評価

<p>評 価</p> <p>(A：達成している) (B：不十分である) (C：達成していない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中高生延べ350名以上，保護者・教員延べ50名以上 A：達成している ・取り組みに対する満足度90%以上 A：達成している ・理系進学希望者50%以上 A：達成している ・進路意識の変貌実施前比50%以上の増加 A：達成している
<p>上のように判断した根拠をお書きください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの評価項目も目標値を大きく上回っている。 ・参加した生徒の参加前における理系に対するももとの意識が判断できない部分があるので、アンケートのとり方に工夫が必要ではないだろうか。 ・それぞれの数値目標について、すべて超えているから。 ・350名以上の目標に対して、851名、(保)50名以上に対して67名。(中高生の参加者数が大きく目標をクリア) ・満足度90%以上の目標に対して99%、93.6%とクリア。 ・進学希望者50%以上の目標に対して、91.9%、96.8%と大きくクリア。(意識の変貌50%以上の目標にたいして、82.9%、82.4%とクリア)。と見ると...? ・後半の2項目については、受講者に理系志向の偏りがあるとしても、80~90%を示していることからAと判断した。 ・目標に対する実績がほとんど達成されている。 ・当初の目標である数値は十分達成しているといえる。

分析評価

<p>生徒に対する成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する時点である程度意識の高い生徒が多かったと思われる。もう少し参加者のすそ野を広げる工夫が必要である。 ・理系科目が「どちらかという苦手」という生徒が多い中、満足度が非常に高い、効果的なプログラムになっていると思う。 ・誘いに参加した生徒と深化セミナーの生徒が同じではないので、変化のデータとしては比較できない。できれば同じ生徒の変容を調査してもらいたい。 ・生徒の満足度の高さがアンケート結果から伺える。 ・これから女性として生きていく上で参考になったのではないか。 ・参加者の満足度や意識の変貌等大変高い割合で肯定的にアンケートに回答している。おそらく理系を選択していくものと思われる。 ・当初の目標を達成しているものの、意識調査では理系に興味のある生徒、理系に進みたいと考えている生徒が中心に集まっているので、当然であると考え。ただし、受講生の満足度が高いことから、本年度の取り組みとしては十分応えられていると考える。 <p>保護者に対する成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した保護者には好評である。 ・保護者の参加実人数は15名である。次年度以降より多くの保護者が参加するような取り組みにしていただきたい。 ・参加者数を増やすことが必要。あまりにも少数の意見となっている。 ・保護者の数が多くないため評価はしにくいですが、子供の進路にたいして大きな影響力を持つ保護者に対してもっと啓発する必要がある。

その他特記事項

- ・中学生と高校生とでは進路意識に差があるので、別々の対応が望ましい。
- ・講師から男性を排除することはかえってマイナスになるのではないか。理系女子を正しく評価できる人物であれば、男性でもかまわないと思う。
- ・今後の事業内容として、リケジョ事業の学校へのアピールをしっかりとやっていくことと、中学校（2・3年生）を中心に事業を進めていったほうが理系進路選択は高まるのではないかと考える。
- ・幅広い分野でのセミナーを希望します。
- ・学校行事や高校生の文理選択時期に応じた事業開催時期の検討をお願いしたい。
- ・キャリア教育の重要性が叫ばれている中、現在でも将来の進路について明確に描けずに大学に入学して来る学生も多いと伺っている。中学、高校でさらなるキャリア教育の充実を望みたい。リケジョ育成プログラムの誘いセミナー、フォーラム等についても、例えば、録画して各学校で視聴してもらうなどはないのか。